

# HRS接客ベーシック検定のご案内

本年度の「HRS 接客ベーシック検定」は、12月4日月曜日、服部栄養専門学校を会場に基礎講座を開講し、講座受講者を対象とした検定試験を2024年1月29日月曜日に吉祥寺エクセルホテル東急を会場に実施します。この検定試験は外食産業で働く方々、また、これから志す方々を対象としたHRS認定のライセンスで、企業の新人教育の一環としても評価されている資格制度です。人材育成ご担当の方は、ぜひこの制度のご活用をご検討ください。受験希望の方は、本誌同封の講座内容と試験のご案内、または協会ホームページ(www.hrs.or.jp)よりお申し込みください。

## HRS 接客ベーシック検定とは?

厚生労働大臣指定試験機関として国家検定「レストランサービス技能検定」を試験運営するHRSが、広く料飲業界に従事する方々、それを志す方々を対象とし、HRS 監修の「接客ベーシック検定ハンドブック」を教材に、料飲基礎講座と実技審査を通して、外食産業に求められる基本知識と動作、ホスピタリティマインドを習得していただくために実施するHRS 認定のライセンス制度です。

ホテル・レストランにとらわれず、ベーシック検定は幅広い飲食施設(カフェ、居酒屋、販売店等)の方々、料飲、ブライダル等の専門学校在生もトライできるようなプログラムで構成しています。また、人手不足や人財不足の環境にある中、きちんとした教育、育成時間が取れない現状下では、事業主にとってもメリットがある資格制度ですので、ぜひ受験をご検討ください。

### 料飲基礎講座の受講

\*基本動作と知識の取得

### 試験受験

\*学科試験と実技審査を行います

### 合格者は資格を取得

\*認定証書と認定バッジ授与



## 講座に使用するハンドブックの紹介

第1章 食品・食材等の基礎知識  
第2章 接客の基本  
第3章 テーブルサービス  
第4章 苦情対応とお客さまの受け入れ  
第5章 危機管理

第6章 西洋料理の食器用具  
第7章 食文化  
第8章 飲料の種類及び特徴  
第9章 食品衛生  
第10章 食物アレルギーについて

## どのような方が受験をしているか?

新人研修のプログラムとして 希望の職種に就くために資格を取得したい

人事・教育担当の方のご参加、社内教育の一環として

調理師(目指している)だが接客の基本は身に付けたい

料飲サービスの基本を再確認したい

飲食店の開業を目指している

料飲サービスの基本を身に付けたい

etc...



## 「HRS 接客ベーシック検定」専門学校の取り組み

学校法人服部学園 服部栄養専門学校 調理技術部 岡田 宙氏 (おかだ ひろし)



服部栄養専門学校の調理師科には、2年制の調理ハイテクニカル経営学科と1年制の調理師本科昼間部、1年半の夜間部の学科があります。2年制ではレストランサービス技能検定3級を全員が受検をしています。それ以外の学科には在学中にチャレンジできるサービスの資格がこれまではありませんでした。しかし、授業のカリキュラムには接客サービスという科目があり、サービスの基本知識、実技を勉強しています。2021年度より、HRS 接客ベーシック検定の資格制度が始まり、授業で身につけたことを資格として残せる環境ができたことにより、現在は学生にベーシック検定の受検

を勧めています。

筆記試験の受験内容は、食材・飲料の知識、ホスピタリティーや食文化(和食や宗教についてなど)、サービス実技基本知識などです。レストランサービス技能検定とは違い西洋料理だけにとらわれず、飲食関係に必要な基本的部分が求められます。実技審査ではオーダーテイクから料理の提供、片付けまでを、レディーファーストを軸に、基本の動きを身につけておく必要があります。

現在4回の試験を終え、当校では25名の合格者を輩出しております。

今回の受検者からは、「筆記試験は授業の内容よりも少し難しかったです」「実技審査は来店から見送りまでを通して行う内容でした。緊張でがちがちでしたが、受検者同士で何度か役割を交代し、励まし合いながら練習を行いました」「受検してみて、普段受けているサービスが、気配りと訓練の上にあるものだとわかりました」「おもてなしの心が大切だと思いました」などの声がありました。

サービスベーシック検定は接客の基本を押さえたもので、飲食店のジャンルにとらわれず、また、カジュアルからフォーマルにも対応できる、サービスの基本の内容です。様々な形態のお店に就職する学生の力になるものだと感じています。今後も受検希望者が更に増えていくよう、魅力を伝えていきたいと思えます。

資格を取得した学生には、そのスキルを活かし、自信を持ってお客様と接し、信頼関係を築き活躍してほしいです。